

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 11 日 (17 : 30~18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	3	1	0	8 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用がある時、事前に得られた情報、サービス担当者会議録を利用開始までの毎日の申し送りカンファレンス時に取り上げ、利用者情報を周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 1 回/週のカンファレンスを安定して実施する事ができた。情報共有を図るとともに、カンファレンスで提案された支援を行う事で、より個別性の高いケアを行えるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	5	1	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	6	1	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	7	1	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 毎週のカンファレンス時に合わせ、新規ご利用者の情報共有、支援についての意見交換が出来ている。そうする事で、ご利用者の生活上の課題について、素早く対応する事が出来るようになった。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用の場合、ご本人のニーズと支援内容にズレがあり、その調整を行うのに時間がかかる。 ご本人、家族の間で意向の違いがある場合、家族と関わる機会が少なく関係づくりを進める事が出来ない為、両者のマッチングがうまくいかない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用の初期段階において情報共有を図る取り組みを継続させたいので、支援開始前と開始後で生活習慣やリズムが変化する事を踏まえ、もとの暮らしを尊重しつつ新しく導入されたサービスがより速く生活になじむよう、①利用開始時に作成②6 か月に 1 回見直し③生活に変化があった時に都度修正する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月11日(17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	6	0	8

前回の改善計画

・ライフサポートプランの個別性を向上させる為、プラン作成をご利用者担当ケアワーカーが計画作成担当者と共に作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果

プランに対してのモニタリングは担当職員を中心に実施する事が出来るようになり始めている。次期プランへの落とし込みは、まだ不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	4	4	0	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	2	0	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	4	2	0	8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	2	1	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・訪問シートを作成する事で、個別性の高い支援を職員全員で共有し実行する事ができた。
- ・ライフサポートプランに基づいた支援の実施、その評価を行う事ができた。
- ・担当職員が中心となりライフサポートプランに沿った支援をカンファレンス通じ発信している。
- ・個別外出や、買い物など企画の段階からご利用者と協力し行う事ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・計画作成担当と共に、ケアプランの作成までは行う事が出来ていない。
- ・ご本人の健康状態の変化が激しく、目標の達成が出来ない事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・担当職員が毎週のカンファレンスを利用して情報収集を行い、カンファレンスで出た意見等をモニタリング記録に記載する。それを計画作成担当者は次期ケアプラン作成に反映させる事を一連の流れとして行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月11日(17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	5	3	0	8

前回の改善計画	・支援内容のムリ、ムダ、ムラを排し、必要な支援を均一的に行う為の「訪問シート」が活用できるように、「訪問シート運用マニュアル」を作成し、それに基づいて運用してゆく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	1	0	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	4	0	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	4	0	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	3	0	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	0	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・体調や気分の変化に気づけるよう観察を行う事が出来ている。当日の出勤者の他、申し送りや掲示板の利用によりその日にやすみであった職員にも周知を行う事で、ご利用者の変化があった場合には情報共有する事が出来ている。 ・食事、入浴、排せつなどの直接支援については、介助法の伝達研修等を行う事で、一人一人に合った基礎的な介護は出来ていると思う。 ・ご利用者の思いや以前の暮らしで新しい情報があればケース記録、申し送りで情報共有をしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問シートの更新が出来ていない。 ・認知症のあるご利用者についての対応について、自分が気遣っている声掛けや雰囲気作りについて他職員に上手く伝える事が出来ていない。 ・ご本人の以前の暮らし方について整理がされず、共有する事が出来ていない。 ・担当するご利用者以外の以前の暮らし方や、こだわりなどは十分に把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員により訪問シートの更新を行う。更新は手書きで追記する形で随時行うが、最低でもケアプラン更新時に合わせてデータ上に転記して更新する。担当職員が中心になって取り組むことにより、個別性の高い支援を実現できるようになる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 11 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	1	0	8

前回の改善計画	・ 訪問サービス利用が無いご利用者、ご家族の生活歴、地域と関わりについて聞き取りを行い、内容を記録、整理する。
前回の改善計画に対する取組み結果	支援を行う普段の関わりの中から、ご本人の生活歴等について記録を行う事で、全体での理解が進んだ。言語的なコミュニケーションが明瞭でない方について、アセスメントを進めることが出来ず、今後の課題である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	1	0	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	4	1	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	2	0	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	3	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族からご本人の自宅での様子を聞き取る事を、継続して行い記録に残している。 ・ 事業所が関わる前の暮らしを尊重するとともに、より生活が豊かになるように考え支援を行う事が出来た。 ・ 支援者による押しつけではなく、ご本人が納得されているかどうかどうかを重視して支援している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの生活習慣(外出など)が、認知症を含め病気や機能低下の為に出来なくなった場合、支援を行う事によりその継続を目指すのが、結果としてご本人に無理を強いていると感じる事がある。 ・ 訪問サービスの無いご利用者についてはご自宅で暮らしぶりを把握しづらい。 ・ 現在の生活スタイルを把握する事は出来るが、サービス開始前の交友関係や人間関係は把握しきれない。 ・ 以前は仲良くしていた近隣の方であっても、現在では同じ関係性ではないこともある。ご本人が「衰えた」「(以前に比べ)出来なくなった」とマイナスに感情を持たれる事の無いようにしてゆきたい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当職員はご利用者やご家族に直接聞き取りを行う事で、ご本人の生活歴、地域と関わりについて内容を記録、整理する。また環境や人間関係、体力面の変化を考慮した上で、以前の暮らしと現在の生活のギャップを軽減させる事が出来る様に、毎週のカンファレンスで検討し支援につなげる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月11日(17:30~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	2	2	4	8

前回の改善計画
・地域包括が作成しているインフォーマルサービス一覧表をベースに地域資源一覧表(仮)を作成し、活用できる地域の資源を全職員に分かるようにする。土台を管理者、ケアマネジャーでつくり、みんなで作り上げる。

前回の改善計画に対する取組み結果
協力して資料を作成する事はできたが、それを活用する事が出来ていない。ご利用者個別のニーズに沿えるよう、社会資源利用に習熟してゆく事を目標とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	1	1	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4	0	1	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	3	0	1	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	3	0	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者の予定に、事業所のサービス提供のスケジュールを合わせるなど、柔軟な対応を行う事が出来ている。
・カンファレンスを行う頻度を上げたことで、ご利用者の変化をとらえる事が出来るようになった。
・社会福祉協議会の日常生活支援事業と連携し、ご本人の生活を支える事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所全体としては取り組んでいるが、個人としては直接かかわる事が無い事から、その他の事業所や、インフォーマルサービスとの連携について、実感がない。
・社会資源一覧表を活用する事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・昨年度に作成した地域資源一覧表を基に、ご利用者毎に社会資源とのマッチングを図り、事業所だけでは対応が困難なニーズやその方らしい生活が支援できるように担当職員と計画作成担当で計画を作成する。
・近くの商店での買い物や、食事をするなどの外出もサービス内容としてとらえその支援にあたる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月11日(17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	0	0	7

前回の改善計画
 ・利用者には何かニーズがあった時に地域の窓口を一本化することでより連携が取れるように、管理者、ケアマネジャーを窓口とし各種団体にアプローチしていく。職員はそれを理解する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 昨年度からの情報州の結果、秋祭りや、その他の地域で行われるイベントのスケジュールを事前に把握する事で、積極的に参加する事が出来た。
 また日常的なものではないが、イベントを通じ継続して児童館との交流を図る事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	3	0	3	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	0	2	4	8
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	1	1	4	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	2	2	1	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ご本人の状態の変化があった時などに、サービス担当者会議を通じて訪問看護事業所等と情報交換を行う事が出来ている。
 ・入退院の際には、カンファレンスの参加や、サマリーの提供を受ける事で情報の共有を行っている。
 ・地域交流スペースでは、頻りに地域の団体による活動が行われている。
 ・事業所の計画作成担当者を通じ、その他の介護事業所や医療機関と連携を図る事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・サービス担当者会議には、計画作成担当が主に参加をしており、直接参加する機会が無い。
 ・登録者以外の高齢者や子供が参加できるような企画は上記以外ではできておらず、地域交流スペースをご利用されている各種団体との関係性が構築できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・担当職員は可能な限りサービス担当者会議への出席することで、担当職員として他の事業所や関係機関と協働している事を感じる機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年10月11日(17:30~18:30)

7. 運営

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	1	2	3	8

前回の改善計画	・桂坂自治連合会広報誌や社協の広報誌、山の手倶楽部の広報誌などに、事業所の活動を掲載できないか働きかける。
前回の改善計画に対する取組み結果	桂坂社協の広報誌に寄稿し、事業所の活動について地域での認知度の向上を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	4	0	2	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	1	1	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	1	3	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	3	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方からの意見や苦情については社内メール等で周知し、カンファレンス等を通じ対応策を検討出来ている。 ・ご利用者、ご家族からの意見や苦情を受け付ける事があった時には、上司に報告し、その旨の周知がされている。苦情については真摯に受け止め、同じことが繰り返されない様に対策を立てる事が出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・広報については役割分担として、管理者、役職者に任せている。 ・地域ケア会議、運営推進会議に職員全員が参加できず、そういった場で事業所の在り方について職員としての意見を言う事はできなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・勤務調整し、一般職員も1回は地域ケア会議に出席する。 そのことにより地域や他事業所との関わりを認識し、事業所の役割を考える。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 11 日 (17:30~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	2	0	1	8

前回の改善計画

- ・小規模会議で研修の伝達、報告を必ず行う。
- ・事業所内研修の日時を固定し、参加率を上げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修内容の伝達については、毎月の小規模会議で行っているが、多くの時間をとる事が出来ない都合、その場では報告にとどまる事が多い。研修のスケジュールを変更させることで参加率自体は上がっているが、18時30分から開始が固定化されているため、家庭事情等により参加が難しい職員は直接研修を受ける機会が損なわれている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	1	1	1	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	1	4	8
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	5	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	2	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事業所内研修を自ら講師となり行う事で、より理解を深める事ができた。
- ・伝達研修を行う/受ける機会が増えたことで、より主体的に知識や技術の習得に努める事が出来た。
- ・資格所得の為の研修に参加する事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・育児や介護などの理由により、研修参加が出来ていない。
- ・毎月研修があるのは多いと思う。
- ・自らのスキルアップのための勉強や研修参加を持つ機会が無かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・事業所内研修の講師を役職者ではなく各自1つ受け持ち、講師として担当することにより職員同士で学び合う機会を持つ。(次年度年間研修計画作成時に受け持ちを決める)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 10 月 11 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	1	3	0	8

前回の改善計画	・判断能力が充分でないと目されるご利用者に対し、成年後見制度、日常生活自立支援事業の利用を提案してゆく。
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見制度、日常生活自立支援事業などの権利擁護に関わる事業と共同し、支援を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1	1	0	8
②	虐待は行われていない	5	2	1	0	8
③	プライバシーが守られている	0	6	2	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	3	0	8
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	6	2	0	8

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待、プライバシーについての研修を行い職員の意識を統一出来ている。 ・事業所内での研修に参加して居る。 ・事業所において虐待は行われていないが、そのきっかけとなる出来事や言動があった時には、上司への報告、会議での注意喚起を行う事が出来ている。 ・一時的なフロアの施錠などの拘束にあたる対応を行う事があったが、その語には通常の対応に戻すことができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症周辺症状が強く出るご利用者に対し、スピーチロックを含めた拘束を行わない事で、その他のご利用に不快感や不利益、フロアでの自由な行動の制限を与えていると感じる事がある。 ・個人名の入った書類など、身に付くところに置いてある事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ご利用者の金銭管理について不適切な取り扱いとならないよう、取り扱いに問題が生じそうなどときには計画作成担当者に相談し、成年後見制度の活用もしくは社会福祉協議会の日常生活支援事業との連携を図り、公平で適切な対応を行ってゆく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	代表者	理事長 浅野信之	法人・ 事業所 の特徴	「くらしに笑顔と安心を」の理念のもとに、京都市に多種多様な介護事業所を持つ法人である。 事業所は桂坂学区の福祉ゾーンに位置し、洛西ふれあいの里保養研修センターが担ってきた地域コミュニティの拠点としての役割を踏まえ、高齢者の居場所づくりの推進や、地域住民同士の交流の場の提供など、地域で高齢者を支えるネットワークの構築を進めていく。また、地域との関係性を大切にしながら、利用される方がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 桂坂	管理者	浦川良太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 9つの自己評価結果から出た改善計画に基づき、ご利用者一人ひとりの生活歴や地域との関係性などを情報収集し、暮らしのありように基づいたサービスが提供できるように、職員が情報収集シートを用いてカンファレンスを行い、チームで同じ方向に向かって支援できるようにする。 	<p>今年度より毎週会議を開くようになり、意見交換する機会が格段に増えた。時間外であっても、参加しないことによるデメリットが大きいため基本的に参加するようになった。</p>	<p>初期支援から安定利用までの流れが利用者に分からない為、初期のサービス量から安定期のサービス量に減った時に「もっとしてもらえるのでは？」となるのではないかと→利用開始から安定期までのサービス量の流れを図式化（フローチャート等）で利用開始前に示して説明できるように作成する。</p>	<p>9項目の自己評価から抽出された改善計画を実行できるよう、具体的な目標を設定した。</p> <p>※別紙参照</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 8時30分～19時まで、1階玄関の照明を点け、建物に入りやすい雰囲気を作る。 1階掲示板を見やすく、情報発信用スペースとして利用する。 	<p>普段来られていない方にとってはわかりにくいと思いますが、日中は入りやすいように誰もいなくても1階フロアの玄関電灯はつけておくようになっている。また、各フロアの雰囲気は見学していただいたとおり。</p>	<p>特になし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常に清潔で落ち着いた空間となるように、フロア待機の職員が2名以上いる日は1名が清掃及び整理整頓を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 年一回は地域広報誌への記事掲載をお願いする。（管理者から） 掲示板に困りごと等の窓口として事業所、沓掛包括の連絡先を掲示する。 	<p>目の前に地域包括があるので、立地的に介護に関する相談はそちらに行かれることが多いが、直接サービスについて等相談を受けることがあった。社協の広報誌に掲載していただいた。今後も機会があればお願いしたい。</p>	<p>特になし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き秋まつりに屋台を出店し、当事業所を知っていただく。 統一夏祭りへの利用者との参加し、地域の方とのつながりを持つ。
D. 地域に向かい本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に何かニーズがあった時に地域の窓口を一本化することでより連携が取れるように、管理者、ケアマネジャーを窓口とし各種団体にアプローチしていく。職員はそれを理解する。 	<p>窓口を一本化することで、各学区の民生や自治会との関係構築が前進している。地域ケア会議には管理者がほとんど出られるようにしており、それぞれ事業所の存在を認知してもらえるように取り組んでいる。</p>	<p>心配な方に関わっていることをどうやって形に残すのか。</p> <p>・(事)具体的に相談にのったことも、包括に相談したこともあります。</p> <p>→たとえば地域ケア会議に出席するほか、この運営推進会議でも関わっていることになるのでは？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各利用者が地域行事へ積極的に参加できるように、ケアマネを通じて各地域の行事計画の収集と、希望に応じた行事参加の企画を立案し、実施、評価する。 引き続き、お一人暮らしの方などを支えるために、民生児童委員の方等と情報共有しながら支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議では事業所の取り組みを説明するとともに、地域の代表者や地域包括支援センターの職員から及び当事業所で気づいたご利用者以外の困りごと等について取り上げ、検討を行う。 	<p>運営推進会議でいただいた意見等は、小規模多機能内の会議で共有することにより</p>	<p>地域の心配の方等の事例検討が行われているかという項目だが、そもそもそういったことを検討するとは思っていなかった。</p> <p>議題として挙げていない為、意見する機会がないように見えていたが、今後は議題に取り入れ、意見しやすいように工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議で、地域の心配な方について共有する議題を設け、会議に取り上げる。 法人内メールを活用して運営推進会議録を配信し、職員周知する。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 福祉ゾーンの互助会連絡網を掲示し、いつでも誰でも何かあれば連絡が出来るよう準備する。 消防計画に沿った、防災訓練を年2回実施する。 	<p>地域の防災訓練は桂坂学区の防災訓練には管理者が参加した。</p> <p>また、ふれあいの里消防互助会による合同防災訓練にも参加している。</p>	<p>実際の震災では、福祉避難所となる事業所が他にもある中で、一番規模の小さい事業所である当事業所だけを頼りにすることはないし、互助会のなかで協力し合う関係になっていけばよいのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉ゾーンの消防互助会による合同訓練を活用し、災害時に具体的な連携について協議する。 非常食を流通備蓄だけでなく、保存食も計画的に購入していく。

